



子どもたちと地域の方とのつながりをつくる —学校運営協議会の熟議から—

10月1日（木）に、第3回学校運営協議会を西川中学校で行いました。今年度は「子どもたちと地域の方とのつながりをつくるために」をテーマに、上期の取り組みをふり返るとともに、今後の展開について熟議を行いました。委員の皆様からは、主に以下のようなご意見をいただきました。

◇コミュニティルームのさらなる活用に向けて

- ・趣味や特技をもつ地域の方を新たに発掘するために、つながるくんを活用して広く呼びかける。
- ・各地域の「サロン」などに声がけし、学校での取り組みを周知していく。
- ・町報にコミュニティルームの取り組みを掲載してもらい、町民のみなさんに知らせていく。

◇地域の方と子どもたちとの交流の充実に向けて

- ・「西川っ子まつり」などの学校行事に地域の方を招待する取り組みをしてはどうか。
- ・地域での世代間交流が少なくなっている。また、老人クラブが存在するのは東部地区のみとなってきた。地区で行っている催しを学校とジョイントして実施してみるという方法もあるのではないか。
- ・「乗ってあべプラス」を活用するなど、学校までの交通手段を考えていく必要があるのではないか。

熟議を通して、「**学校からの情報発信を工夫する**」ということが当面の課題として挙げられました。今後は、一人でも多くの方に、「学校に行ってみたい」「来てよかった」「また子どもたちと交流したい」と思ってもらえるよう、新たな取り組みを検討してまいります。

今年度のコミュニティルームの活動の様子



秋の深まりを感じて

読書の秋・芸術の秋・・・

10/7

読み語り 子どもの心を動かす一冊

今回は、学年の様子に合わせて、秋にちなんだ絵本を中心に紹介していただきました。その一方で、5年生は昔語りをお聞きしました。お話は「橋になった龍」「とんだあわてもの」。最近はめったに聞くことがなくなった山形の方言を使い、情感をこめてお話ししてくださいました。語り手の方は「子どもたちはどこまで理解できたかわからないけれど、雰囲気であわてくれたみたいです」とおっしゃっていました。言葉の意味はよくわからなくても、方言のもつ独特な温かみや懐かしさ、おもしろさは子どもたちの心に確かに響いたようです。

〈今回読んでいただいた本〉

「すいどう」「おばけずし」
「どうぞのいす」「おかしなおきやくさま」
「おつきみうさぎ」「つきよのキャベツくん」
「ぼくのかぼちゃ」「おおきなかぼちゃ」
「にじいろのしっぽ」
「答えのない道德の問題 どう解く」



10/13

スクールバス徒歩登校 小中交流あいさつも実施

13日（火）から16日（金）にかけて、スクールバス通学の子どもたちが徒歩登校を行いました。晴れた日には、イチョウの葉やエノコログサを持ちながら楽しそうに歩いてくる子もいました。歩道脇には、赤く色づいたナナカマドの実も並び、秋らしさを味わいながらの登校となりました。

また、14日（水）・15日（木）には小中交流あいさつを実施し、中学生が小学生を迎えてくれました。久しぶりに会う先輩たちうれしそうにハイタッチを交わす姿も多くあり、朝から温かな雰囲気が広がりました。



10/14

小中文化鑑賞会 山形交響楽団スクールコンサート

昨年度は「劇」の鑑賞でしたが、今回は山形交響楽団のみなさんの演奏を聴きました。テーマは「音楽が描く物語！クローズアップストーリー」。曲に込められた物語をわかりやすく紹介していただき、子どもたちは音楽の調子やリズムをもとに情景を想像しながら聴いていました。曲に応じて体を揺らしたり手拍子をしたりする姿もあり、楽しい気持ちが伝わってきました。途中、オーケストラの前に指揮者を体験したり、オーケストラの演奏で「翼をください」を歌ったりしました。音楽のすばらしい魅力にふれ、素敵な時間となりました。

